

## 日本大学生物資源科学部 環境宣言

日本大学生物資源科学部は、生物に関する総合科学を築き上げることを目指しています。この目的を達成するためには、生物資源、生命、環境及びそれらと密接に関わる人間活動の4つの柱が適切に調和し機能する必要があります。その目標の具現策として、私たちは循環持続型の地球環境システムの維持と修復を掲げました。

生物資源をめぐる人間の諸活動は、環境や生命に対する学術的知見の深化とその応用と相まって、環境に対する責任と生命に対する倫理性が強く要求されるようになりました。本学部は生物生産、生命、環境及び人間の諸活動に対する責任と倫理性を有し、深い洞察力と学術的知識に基づいた行動力を持ち、循環持続型社会の構築に貢献できる人材の育成を行い、社会に輩出することを教育及び研究の目的としています。

従って「環境」は本学部の教育と研究のバックボーンであります。私たちは、キャンパス内の環境負荷を低減し、地球環境を持続的に維持及び修復するために下記「環境行動方針」を定め、平成18年に「ISO14001」を取得し、計画に基づいて、実施及び運用、点検、評価を行い、環境システムとして展開してまいりました。

今後ともこのマネジメントシステムを展開し、環境保全に貢献することを宣言します。

平成22年10月1日

日本大学生物資源科学部長

河野 英一

### 環境行動方針

1. 環境に関する講義やフィールド活動を含む科目を更に充実させ環境教育の徹底を図り、環境に関わる知識や倫理観を養うとともに、環境の保全・修復・創造技術の修得が向上するように努めます。
2. ゼロ・エミッションの実現に向けて生物資源の活用を追究し、循環型生物資源生産、循環型社会等の形成に役立つ研究及び教育を推進します。
3. 地域社会、行政、海外提携校等との連携を強め、相互に支援・協力しあって、特に生物環境科学研究センターを中心に環境に関する公開講座、講演会、シンポジウム等を開催するとともに、環境保全活動に実践参加することにより、地域・地球環境問題の解決に取り組みます。
4. キャンパス内における自然環境、動植物等の保全を推進します。
5. キャンパス内における環境汚染の予防、諸廃棄物の発生抑制、再生利用、省エネルギー及び省資源の推進に努めます。
6. キャンパス内における全ての活動に関わる環境関連の法規、規制及びその他の取決めを順守します。
7. 環境方針の達成に向け、環境目的及び目標を設定して環境計画の継続的改善に努めます。
8. 環境方針は、キャンパスを利用する全員に周知し、また容易に入手できるようにするとともに、文書及びインターネットを通じて、広く社会に開示します。

以上

## ISO 14001（環境マネジメントシステム）認証の取得

本学部では、環境への負担の低減および地域から地球規模におよぶ全ての環境の持続的発展、並びに環境の修復・保全による循環型社会の構築などに関する環境教育・研究の普及に取り組んでいます。この活動をさらに推進させるため、平成16年3月に「環境行動方針」を定め、国際標準規格であるISO 14001（環境マネジメントシステム）の認証取得に努めてきました。学生、教職員の皆様方のご協力により平成18年3月に認証を取得し、また平成22年3月までに対象範囲を拡大し認証を取得いたしました。今後も、学内環境の整備充実や改善をさらに推進して継続的な環境マネジメント活動に努力してまいります。

### 登録概要

#### 1. 認証の対象

- 平成18年3月 適用範囲（認証取得）  
本館 12号館 博物館 生物環境科学研究センター  
体育館及びグラウンド 住棟間
- 平成20年1月 適用範囲（認証取得）  
7号館 総合研究所 放射線利用施設（RI施設） 図書館
- 平成20年12月 適用範囲（認証取得）  
6号館 5号館（短期大学部） 附属施設事務課 農場本館（農場含む）  
食品加工実習所
- 平成22年3月 適用範囲（認証取得）  
4号館 9号館 10号館（林学実験実習棟 海洋生物実験センター含む）  
生命科学研究所 動物病院（獣医学科研究室のみ）  
動物医科学研究センター 食品加工実習所（食品製造のみ）

#### 2. 認証機関

ロイド レジスター クオリティ アシュアランス リミテッド  
(LRQA ジャパン)

#### 3. 環境マネジメントシステム

規格番号 ISO 14001:2004, JIS Q 14001:2004



登録証